

CONTENTS

- 225 学生会員勧誘と育成のお願い 益田隆司
Towards the Inducement and Fostering of Student Members Takashi MASUDA (The Univ. of Electro-Communications)

特集 Special Features バイオインフォマティクス Bioinformatics



- 227 編集にあたって 山下博之
Foreword Hiroyuki YAMASHITA (Japan Science and Technology Agency)
- 230 1. バイオインフォマティクス概説 – 比べることで生命は解明できるか? – 榊原康文
Recent Advances of Bioinformatics Yasubumi SAKAKIBARA (Keio Univ.)
- 239 2. バイオインフォマティクス研究者スキル 秋山 泰
Bioinformatics Researcher Skills Yutaka AKIYAMA (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)
- 246 3. システム生物学 – ウェットバイオロジーと計算機科学の接点 – 岡浩太郎
Systems Biology : Contact Point of Wet-biology and Computer Science Kotaro OKA (Keio Univ.)
- 254 4. バイオ統計学 柳川 堯
Biostatistics Takashi YANAGAWA (Kurume Univ.)
- 260 5. 医療・医学におけるバイオインフォマティクス 山崎 憲・山崎 力
Clinical Bioinformatics Tadashi YAMAZAKI and Tsutomu YAMAZAKI (The Univ. of Tokyo)
- 266 6. バイオとナノテクの融合 相田美砂子
Bio and Nano-technology Misako AIDA (Hiroshima Univ.)
- 271 7. ポストゲノム時代の配列情報解析 浅井 潔
Sequence Information Analyses in Post-genome Era Kiyoshi ASAI (The Univ. of Tokyo / National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)
- 277 用語集
Glossary

解説 Articles

- 294 電力安定供給のための情報通信技術 芹澤善積
Information and Communication Technologies for Stable Electric Power Supply
Yoshizumi SERIZAWA (Central Research Institute of Electric Power Industry)
- 300 動き始めた財務会計データ標準 XBRL 高橋規生・山岸利行・松下晶子・森本浩司
XBRL : The Standard of Financial Data Reporting Language Starts Up Norio TAKAHASHI, Toshiyuki YAMAGISHI, Shoko MATSUSHITA
(HITACHI Ltd.) and Koji MORIMOTO (Hitachi Systems and Services, Ltd.)

- 281 組み込みソフト産業の実態と開発の課題 組み込みソフトウェア高品質化へのアプローチ**
平山雅之
The Reality and Challenges in the Embedded Software Business : Quality Perspective on Embedded Software Development
Masayuki HIRAYAMA (TOSHIBA Corp. / IPA)
- 289 Web サービス 情報システムにとっての SOA の役割** 倉沢良明
Web Services : The Usage of SOA for an Information System Yoshiaki KURASAWA (Canon Inc.)
- 321 プログラム・プロムナード デジタルトモグラフィ** 川合 慧
Program Promenade : Digital Tomography Satoru KAWAI (The Univ. of Tokyo)

- 310 アメリカ IT まわりの話題 米国流—新しい電話の使い方** 廣瀬 正
IT Topics in the US : The Difference of Telephony Application between Japan and the US Tadashi HIROSE (Hitachi America Ltd.)
- 312 アジア IT 事情 韓国の IT 事情** 占部浩一郎・中谷 淳
IT Development in Asia : IT Development in Korea Koichiro URABE and Jun NAKAYA (CICC Singapore Office)
- 314 日本の IT 事情 変貌する秋葉原** 遠藤 諭
Information Technology in Japan : Different AKIHABARA Satoshi ENDO (ASCII Corp.)
- 316 20 世紀の名著名論 Prominent Books and Articles in the 20th Century**
G. M. Weinberg : The Psychology of Computer Programming 阿草清滋
G. M. Weinberg : The Psychology of Computer Programming Kiyoshi AGUSA (Nagoya Univ.)
- 317 20 世紀の名著名論 Prominent Books and Articles in the 20th Century**
David A. Patterson and Carlo H. Sequin : RISC I : A Reduced Instruction Set VLSI Computer
五島正裕
David A. Patterson and Carlo H. Sequin : RISC I : A Reduced Instruction Set VLSI Computer Masahiro GOSHIMA (Kyoto Univ.)
- 318 インターネット生活向上委員会 高機能 Web サイトを手軽に構築** 藤井直人
For the Happy Internet Life : Web Application and CMS Platform Used for Building Dynamic Web Sites
Naoto FUJII (Internet Initiative Japan, Inc.)
- 320 情報技術と教育 デザイン力** 宮原秀夫
Information Technology and Education : The Design Hideo MIYAHARA (Osaka Univ.)

その他

- | | |
|----------------|---------------------|
| 329 著者紹介一覧 | 339 有料会告について |
| 330 会員の広場 | 340 おふいすらん |
| 332 IPSJ カレンダー | 341 アンケート用紙 |
| 334 人材募集 | 342 編集室/次号予定目次 |
| 336 有料会告 | 343 掲載広告カタログ・資料請求用紙 |



編集系独白

計算機とメモリを接続、手動テストを繰り返し、正常な動作と見た。「誰かプログラムを」と後藤先輩が叫び、2進パターンで数語のプログラムを紙テープにパンチして渡す。読み込まれたプログラムは予想通りに動作し、1958年3月26日夕刻、パラメトロン計算機PC-1が誕生した。生涯忘れ得ぬ感動の刹那であった。

「バイオインフォマティクス」(エディタ山下博之)が特集。ヒトゲノム解読が終了(だれのゲノムか?)したが、広範囲にわたる情報技術が不可欠だったのは明らかだ。7編の各論をお楽しみに。3月の大会の特別トラック「バイオ情報学」の基調講演は聞けつもりだ。

粉飾決算は企業の命をも容赦なく奪う。決算を計算機でチェックするにはまずフォーマットを決める必要がある。高橋規生他の「動き始めた財務会計データ標準 XBRL」はやはりXMLベース。BRはbusiness reporting。昨年8月にはBMLなる言語もあってややこしい。いいと分かっているけど普及が遅れているようだ。IPv6と同じか。

戦後はよく停電し、ろうそくの世話になった。ピアノコンサートの途中で停電。闇の中で最後まで演奏が続いた。計算機屋の理解する電気は弱電どまりなので、「電力安定供給のための情報通信技術」(芹澤善積)を読み、安定供給を目指す巨大システムが構築されていたと初めて知る。

東京の千住におばけ煙突という名所が(1964年まで)あった。走行中の電車からその方向を眺めると、煙突が2本に見えたり3本に見えたり4本になったりした。煙突の実際の配置の推理に人々は楽しんだが、それが元祖コンピュータトモグラフィである。今月のプロムナードは川合慧による「デジタルトモグラフィ」。ほおっ!?と思うような存外面白い解法であった。

今月のWebサービスでは倉沢良明が「情報システムにとってのSOAの役割」を力説するが、3文字ワードのパラダイムが次々と現れては消えていく歴史の部分をエンジョイした。

組込みソフト産業の連載は「組込みソフトウェア高品質化へのアプローチ」(平山雅之)。プロダクト品質、プロセス品質などの説明のあと、(我が国では)トラブルは発生すべくして発生しているとは困った指摘である。「仕様書の不備」? ありうることだ。

以前アメリカで知人に電話したらいきなり留守番電話にまくしたてられた。本人はいるのに仕事に割り込まれたくないかららしい。おれおれ詐欺も敗退する。そういう使い方は最近どう変わったか。アメリカITまわりは廣瀬正で「米国流新しい電話の使い方」を書く。

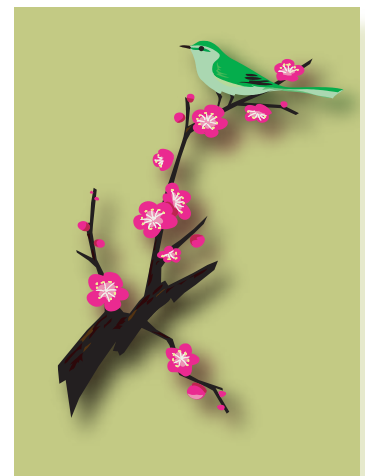
学会のアクセシビリティ委員会のWebページの管理を担当しているので、「高機能Webサイトを手軽に構築」(生活向上委員会藤井直人)みたいなものは気にかかる。しかし結構ややこしそうで、私の仕事はまだ当分手動かも知れんな。

連載情報技術と教育の最終回は宮原秀夫が「デザイン力」の必要性を説く。デザイン力=サイズとニーズをマッチさせる力+センスである。したがってセンスも養成することになるが、これは養成できぬ、生まれつきもっているものだという説もある。あなたは どう思いますか。

名著名論は五島正裕がPattersonのRISCを、阿草清滋がWeinbergの心理学を紹介す。bitは1981年からJerry Weinbergのイーグル村通信を掲載した(木村泉訳)。編集子はJerryに(本書が出た直後の)1972年に英国で、1982年に東京で会い、いつも面白い話を聞いた。「プログラミングの心理学」には25周年記念版があり、訳書は2月下旬に出版の予定。

占部浩一郎他のアジアITは韓国の番。韓国の秋葉原(龍山)の話題もあるが、韓国のIT戦略が紹介されている。シンガポールから韓国へ来ると日本へ帰ったような気がするとか。わかる。

編集子の神保町のオフィスから「変貌する秋葉原」(遠藤諭)に建設中のクロスフィールドが一望できる。つくばエクスプレス(TX)だけでなく、秋葉原全体がいま激動している。(味)



会誌編集委員会

編集長

和田 英一

担当理事

田中 穂積

土井美和子

本号エディタ

天野 真家

安藤 利光

片岡 欣夫

片山 博

菊田 泰代

坂井 修一

前田 敦司

増井 俊之

丸山 宏

安信千津子

山崎 憲一

山下 博之

編集スタッフ

後路 啓子

藤木 律子

綿谷 亜樹

■ 46巻3号掲載広告目次 (五十音順)

インタフェース……………前付2
エッチ・アイ・ティー ……表4
オーム社……………前付3
情報通信研究機構……………前付最終下
SAINT 2006……………表3

ソフト・リサーチ・センター ……前付最終上
電子情報通信学会……………目次前上
とめ研究所……………表3 対向
日立製作所……………表2 対向
日立製作所……………表2

*掲載広告のカタログ・資料をご希望の方は、お名前、電話番号、勤務先または学校名を明記の上、E-mailまたはFaxにてご請求ください。

広告総代理店 (株)精機通信社
E-mail:sei@ss-com.co.jp
Fax(03)3368-1519